

3 議事

(1) 笠間市子ども・子育て支援事業計画について

意見等	事務局等
<p>【利用者支援事業】 ○「利用者支援事業」の延訪問者数198名と「養育支援訪問事業」実績の子育て世代包括支援センターみらいによる訪問件数（問題のある世帯・育児相談等）198件は、同じ症例でしょうか、別の症例でしょうか。</p> <p>【子育て支援短期事業】 ○小学生の障害児対応のショートステイの場所は、どういったところでしょうか。</p> <p>【放課後児童健全育成事業】 ○平成 29 年 7 月から新たに民間の児童クラブ「すまいる」が開設されたが、どこの区でしょうか。</p> <p>【乳児家庭全戸訪問事業】 ○平成 27 年、28 年の実績を見ると、ほぼ出生数に対して訪問しているが、29 年は、大分訪問数が減っている印象をもちましたが、この要因は何でしょうか。</p> <p>【養育支援訪問事業】 ○子育て世代包括支援センターみらいによる訪問件数の相談は、未就園児のことなのか、それとも幼稚園、保育所に通ってる子の相談なのでしょうか。 子育て支援センターの指導員として、悩んでいる</p>	<p>○確認をします。</p> <p>○資料3の下方の欄に、2歳から18歳が利用できる施設ということで、児童養護施設5施設掲載していますが、そちらが小学生が入所できる施設となっております。</p> <p>○発達障害系のお子さんでしたら児童養護施設でお預かりできます。ただ、知的を伴う障害の方ですと、障害のショートステイがありますので、そちらを利用させていただくことも可能かと思えます。</p> <p>○「すまいる」所在地は、友部の鯉淵地区になります。主に友部地区の児童を預かっています。</p> <p>○今回は6カ月の実績で、28年27年は年間実績のため、現時点での比較は難しいところがあります。</p> <p>○0歳児から小学校入学前ぐらいのお子さんだと思います。就園している方もいれば、就園していない方もいると思います。</p>

お母さんや、支援センターに遊びに来るお子さんはまだ相談とか話相手がいると思いますが、そういう悩んでるお母さんにもっと私たちも一歩踏み出した支援をしていけたらなと思っています。

○情報はどういうところから入手しているのでしょうか。

小さなお子さんたちのことは、保健師さんたちから情報が入ってくるのだと思うが、あとは福祉課、子ども福祉課など行政側の方からの情報が多いのでしょうか。

○情報を聞いた場合には、福祉課に情報を提供すれば、その情報がこちらに上がっていく、というような仕組みになっているのでしょうか。

【地域子育て支援拠点事業】

○地域との交流も目的としているのに、支援センターみつばちとかさまこども園の交流時間がない。以前、みつばちでは、かさまこども園の園庭での外遊びを始めましたが、園児に迷惑のかからない時間ということで、13時から14時30分のため、利用者がいなかった。できれば午前中にできたらいいと思います。園児と同じ時間が過ごせれば、園のアピールにもなるし、支援センターとしても、園との交流ができたらいいなというふうに思っています。

【病児保育事業】

○在園児の体調不良児は、どこで実施しているのでしょうか。また、在園していないと利用できないのでしょうか。

○乳幼児に関しては、保健センターの保健師から情報を得ますが、学齢児、中学生に关しましては学校からの情報が多いです。学校と連携をし、こちらで検討させていただくというところが、ほとんどです。あとは学校並びに医療機関です。定期的に受診しているような医療機関がある場合には、こちらからの情報もいただいております。

○そのお子さんと直接関係している機関から市役所にご連絡いただければ、情報に基づいて訪問などを行う形になります。

○かさまこども園長と協議してみます。

○体調不良児対応の施設は2園あって、友部地区と岩間地区になります。園に在園していて具合が悪くなった、お子さんをそのまま園でみている形なので、在園している人だけです。病後児保育とは違うので、体調不良児は、園にいて、具合が悪くなった人をそのままお預かりするという内容です。

<p>○新しくできる「地域医療センターかさま」の病児保育の定員は、決まっていますか。</p> <p>○診断書がないと利用できないのでしょうか。</p> <p>○ここの施設を待っている人は多いと思います。やはり診断書がないと、だめなのでしょうか。</p> <p>【妊婦健康診査】</p> <p>○産前産後サポート事業のことが記載してありますが、妊婦健康診査との関連がわかりません。</p>	<p>○ベット数は3床で、4月1日からオープン予定です。</p> <p>○病児保育なので病気という判断がない限りは、お預かりはできません。</p> <p>○そうです。補助金を使って運営しますが、国の基準なので、これは必要です。</p> <p>○産前産後サポート事業は、計画書にはありません。この事業を始めたので、関係機関から皆さんに周知してほしいということで記載しましたが、掲載の仕方を検討します。</p>
--	---

(2) 多子世帯保育料軽減事業について

意見等	事務局等
(意見なし)	

(3) 子育て短期支援事業について

意見等	事務局等
<p>○申請したらすぐ利用できるのですか。</p> <p>○空いていない場合は使えないという形ですか。</p> <p>○水戸市の日本赤十字社以外は、施設の場所が遠いので、実施可能なのか疑問です。</p> <p>○小学生をもし保護する必要があった場合、学校はどうなるのでしょうか。送迎はあるのでしょうか。</p>	<p>○何日前から申請しなければいけないということは、規定してませんが、施設側の都合によります。連絡、希望があった時点で、施設に連絡をして、空いていれば翌日からでも、また当日からでも対応する予定です。</p> <p>○その通りです。乳児院に関しては、県内3カ所と委託契約を結んでおりますので、第1希望、第2希望、第3希望をとって予約をとる予定です。</p> <p>○県内の乳児院は3カ所しかありません。全施設と契約を結んでいるが、原則は、本人に送迎をしていただくようになるので、本人が送迎可能であれば、ということで進めてみる形です。</p> <p>○施設に確認をしたところ、送迎は厳しいということですので、学校をお休みしていただくという形になります。</p>

意見等	事務局等
<p>○2歳から小学生、中学生を対象の施設数を増やす計画はありますか。</p> <p>○実際に相談がどのぐらいきているのでしょうか。また、送迎が難しく、だめになったケースはありましたか。</p> <p>○一時預かり（日中）でも可能なのでしょうか。</p> <p>○原則として1回当たり7日以内の施設に預けている期間、学校を休まなければいけないということなので、行ったさきで、学校等の受け入れができればいいと思いました。</p>	<p>今後、里親さんや市内の事業所さんで、送迎が可能であれば、こちらで契約を結んでいく計画になっております。</p> <p>○段階に応じて、増やしていこうと考えていますが、現在は、初期段階なので、どれだけの人数があるかが把握できていませんので、ニーズがあれば増やしていくという予定です。</p> <p>○事業が10月からスタートということで利用実績等はありません。ただ、日々の相談業務の中で、使えたらなあなんていう保護者の方が何名かいたのは、事実です。どうしても保護者の方が、送っていくのが難しいような状況の場合には、こちらと相談し、その都度の対応となるかと思えます。</p> <p>○基本的に日中だけという場合は、保育所や、こども園の一時預かりを利用させていただくほうがいいのかと思います。ただ、施設にもよりますが、保育所の一時預かりではなく、こちらの方が良いという方がいれば、相談にはのります。</p> <p>○小学校に通うための手段ですが、実際に掲載してある施設では送迎は難しいとのことなので、例えば、里親とか、可能な範囲で、調査をして今後検討していきたいと考えます。</p>

(4) その他

意見等	事務局等
<p>○認可外の保育施設の入所者は、その企業の方のお子様でしょうか。</p> <p>○現在、企業主導型保育所に国の方でも力を入れているが、企業で働いている方のお子様のみを預かるのならいいが、定員の50パーセントの地域枠をつくれるというようなことになっています。特に地域枠を設けないでいただきたいということではないけれども、設ける場合は、一応どのぐら</p>	<p>○いちご保育園は、どなたでも預けられますが、他の施設は、ほとんどが企業のお子様たちです。</p> <p>○掲載している施設に関しては、2年に1回、立ち入りでいろいろとお話を聞かせていただいています。掲載してある施設に関しては、地域枠をやる意思はないというお話でした。</p>

意見等	事務局等
<p>いの枠があるかを市にも知らせないと、いろいろとバランスが崩れるという部分が懸念されてくると思いますので、市長名で認可団体に意見をいう機会があったら少し検討していただければと思います。</p> <p>○待機児童の状況ということで、0歳児が2人掲載されていますが、これは純粹にどこにも入れない子だと思えます。 その他に待機児童にカウントされていない、要は、指定の園の空きを待っている方などが何人ぐらいいるのか、わかれば教えていただきたいと思えます。</p> <p>○笠間市内の幼稚園、保育園、認定こども園のリストみたいな資料があると思えますが、例えば、同じ認定こども園という名前であっても、もと幼稚園か保育園かにより1号認定児が多いとか2号認定児が多いとかがあるかと思えますが、そういった状況の分かる資料はありますか。</p> <p>○参考資料3の放課後児童クラブの待機者で、稲田小学校の待機者が1人いますが、何とか入れなかったのかなと思いました。0歳や1歳と違うのでこの1人ぐらい何とかならなかったのかなと思いました。</p> <p>○基準外待機が20人は、ここの保育園とか、こども園でなくては嫌だということでしたが、それだけ、せっぱ詰まっていないとか、それほど点数は高くないということの理解でよいのでしょうか。なるべく入れるような手段があれば、いいなと思いました。</p>	<p>○基準外待機と言われる人たちは、今20人ぐらいです。</p> <p>○情報を掲載した冊子を皆さまにお渡しし、説明をしていますが、記載のない事項については、ご質問があれば分かる範囲でお答えしています。</p> <p>○1名は、年度始まってからの申請で、既に利用率が110何%ということで、預かりの限界でした。</p> <p>○点数が高い人もいるが、育休を延長できる方は、待っている方もいます。人によってさまざまですが、どうしても、この園に行きたいという人もいます。さまざまです。</p>

次回会議日程

平成30年2月頃を予定します。